

11 / 10 (木) の発表




報道発表資料の配付日時 11月10日(木) 10時00分

発表項目	冬山登山に関する注意喚起について		
記者リチャ- のお知らせ	(実施日時)	発表者	/
		発表場所	
概要	<p>冬山登山シーズンの遭難・事故等を未然に防ぐため、上川総合振興局、留萌振興局、環境省大雪山国立公園管理事務所及び旭川地方気象台では、連名により、別紙のとおり、冬山登山に関する注意喚起を行います。</p> <p>冬山は気象状況が刻一刻と変化します。穏やかな状況から一変し、突然の猛吹雪になり、周囲が視界ゼロとなることもあります。雪面の状態も新雪であったり、アイスバーンであったりと変化が激しく、なだれや滑落の危険性が一段と高くなります。</p> <p>登山やスキー・スノーボードで冬山に入る方は、備えを万全にして、気象情報に十分留意し、無理な行動はせず、遭難事故に遭わないよう注意して下さい。</p> <p>報道各社におかれましては、冬山登山に関する注意喚起に向けて、積極的な報道をお願いします。</p>		
参 考			
報道(取材) に当たって のお願い	/		
他のクラブ との関係	同時配付 同時シク	(場所) 留萌記者クラブ	
担 当 (連絡先)	<p>担当：上川総合振興局地域創生部地域政策課（主幹：佐々木憲一）</p> <p style="text-align: right;">TEL.ダイヤルイン 0166-46-5910（直通）</p>		

冬山登山は十分な準備・計画と登山届で 遭難事故を起こさないよう万全な備えを！

冬山は気象状況が刻一刻と変化します。穏やかな状況から一変し、突然の猛吹雪になり、周囲が視界ゼロとなることもあります。雪面の状態も新雪だったり、アイスバーンだったりと変化が激しく、なだれや滑落の危険性が一段と高くなります。登山やスキー・スノーボードで冬山に入る方は、備えを万全にして、気象情報に十分留意し、無理な行動はせず、遭難事故に遭わないよう注意して下さい。

《山に入る際の留意事項》

- 単独登山は避け、経験あるリーダーのもと、各自の体力と経験に応じた無理のない、ゆとりを持った計画にしましょう。緊急用の避難コースや予備日も考慮に入れて計画を立てましょう。
- 装備・持物・服装を整え、十分な食料を用意しましょう。特に着替えを含め、防寒の準備は万全に！
- 緊急時に備えて、携帯電話や無線機などを携行しましょう。予備のバッテリーも忘れずに。また、予めスマートフォンの位置情報（GPS）機能等の利用方法を確認するとともに、万一遭難して救助を求めるときは、すぐに110番通報しましょう。
- 登山届は必ず最寄りの警察署または交番・駐在所に提出しましょう。また、北海道警察本部地域企画課にFax（011-251-3535）で送付することも可能です。なお、「北海道警察 安全登山情報」のページからオンラインで提出することも出来ます。
- 山麓と山頂では天候が正反対になることもあります。出発前には最新の気象状況や天気予報を確認し、無理な行動はしないよう心がけてください。最新の気象状況は、旭川地方気象台のホームページ等で確認出来ます。 ▼検索
- 冬山では毎年なだれによる遭難事故が発生しています。特に新雪がたくさん積もった直後は、なだれの起きやすい場所を避けて行動するなど、細心の注意を払うようにしましょう。
- 大雪山系や十勝岳連峰では、火山活動により有毒なガスが噴出しているところがあるので、立入禁止の場所には入らないよう気をつけましょう。また、事前に気象庁の「火山登山者向けの情報提供ページ」で火山活動に関する情報を入手しましょう。 ▼検索
- 大雪山系や十勝岳連峰は国立公園内です。自然を保護するため、ゴミは持ち帰り、トイレのない場所では携帯トイレを使用し、動物や高山植物等を傷つけないよう注意しましょう。特にヒグマを人慣れさせないためにも食料は絶対捨てないようにしましょう。

本件の問い合わせ先： 上川総合振興局 地域創生部 地域政策課（防災担当） Tel（0166）46-5918
留萌振興局 地域創生部 地域政策課（防災担当） Tel（0164）42-8426
環境省 大雪山国立公園管理事務所 Tel（01658）2-2574
旭川地方気象台（火山防災担当） Tel（0166）32-7102